

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	形態機能学Ⅱ（循環・呼吸・消化・吸収・排泄器官） 1単位 30時間	
開講時期	1年次 前期	
担当教員	フラピエかおり	
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>病気で苦しむ人々を救う医療行為には、人体へのさまざまな介入が含まれる。人体の構造と機能についての正確な理解がなければ、その医療行為そのものが害悪をもたらすことになりかねない。解剖と生理学についての十分な理解なしでは現代の医療はなりたない。よって、到達目標は、正常な身体の形態と働きについて基礎的な知識を習得し、器官相互のつながりや身体全体の調和がどのように維持されているかを理解することとする。</p>		
授業計画・内容・担当教員		
1回目	1. 血液の循環とその調整 1) 循環器系の構成 2) 心臓の構造 3) 心臓の拍出機能	講義
2回目	1. 血液の循環とその調整 1) 大動脈本幹と枝	講義
3回目	1. 血液の循環とその調整 1) 末梢循環器系の構造 2) 血液の循環の調整 3) リンパとリンパ管	講義
4回目	1. 呼吸の働き 1) 呼吸器の構造 2) 呼吸筋 3) ガス交換とガスの運搬 4) 肺の循環と血流 5) 呼吸運動の調整 6) 呼吸器系の病態生理	講義
5回目	1. 呼吸の働き 1) 呼吸の科学的調節	講義
6回目	1. 呼吸の働き 1) ガスの運搬 2) ガス分析	講義
7回目	1. 栄養の消化と吸収 1) 口・咽頭・食道の構造と機能	講義
8回目	1. 栄養の消化と吸収 1) 消化の過程 2) 消化酵素 3) 消化ホルモン	講義
9回目	1. 栄養の消化と吸収 1) 肝臓の概観 2) 膵臓 3) 内分泌	講義
10回目	1. 肝臓の機能	講義
11回目	1. 膵臓の機能	講義
12回目	1. 膵臓の機能	講義
13回目	1. 腎臓の機能	講義
14回目	1. 循環器～消化までのポイント	講義
15回目	終了試験	
評価方法	筆記試験（100%）	
受講生に対するメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学生としての品格を維持し授業にのぞんでください。服装、髪の色等授業に適さない学生さんは授業参加を遠慮していただく場合があります。ご了承ください。</li> <li>・指定のテキストを忘れた場合、講義は受講できませんのでご了承ください。</li> <li>・各自学習をして授業に臨んでください。</li> <li>・授業時毎回小テストを実施します。30点以上で合格となり、以下の場合は再テストを1回のみ実施します。毎回の小テストが合格しなければ終了試験の受験資格が得られませんのでご注意ください。</li> </ul>	
テキスト	系統別看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院 フラピエかおり著 看護学生のための重要疾患ドリル 2020 ジカルフレンド社	
参考書	松田 純著 「安楽死・尊厳死の現代-最終段階の医療と自己決定」 中公新書	